

各位

# kawasaki-info



Vol.157 (2024年11月発行)

発行：学校法人川崎学園

川崎医科大学総合医療センター

患者診療支援センター 地域医療連携室

## 「慢性副鼻腔炎の治療について」

川崎医科大学総合医療センター

耳鼻咽喉・頭頸部外科 副部長 檜垣 貴哉

副鼻腔炎は、副鼻腔に炎症を起こすことで、鼻づまり、鼻汁、咳などの呼吸器症状を生じます。加えて、頭痛や頬部の痛みを生じたり、嗅覚障害を伴ったりして QOL の低下につながることもあります。12 週間以上続くと慢性副鼻腔炎に分類されます。

慢性副鼻腔炎には様々なタイプがあります。当院では鼻腔内視鏡検査、副鼻腔 CT 検査、採血などを行い慢性副鼻腔炎のタイプを鑑別した上で治療を行っています。かつては、細菌感染が慢性化したいわゆる蓄膿症が大部分を占めてました。このタイプの副鼻腔炎はマクロライド系の抗生剤を少量で 2~3 ヶ月投与することで改善させることが出来ます。一方で保存的に治癒しない症例や、病変が高度な症例については、手術を行っています。

最近是好酸球性副鼻腔炎と呼ばれる難治性の副鼻腔炎が増えてきました。鼻茸（鼻の中に出来るポリープ様病変です）を伴いやすく、喘息やアスピリン不耐と関連する副鼻腔炎です。難治で再発しやすい副鼻腔炎ですが、手術を適切に行い、術後の治療を加えることで QOL の改善につなげることが出来ます。手術後に再発してしまう場合には、生物学的製剤を用いた治療を行う事もあります。これらの治療で、多くの好酸球性副鼻腔炎の方の症状を改善させることが出来ています。当院では多くの好酸球性副鼻腔炎の治療を行っています。

いずれのタイプの副鼻腔炎も適応がある場合は内視鏡下鼻内副鼻腔手術を積極的に行っています。内視鏡下に鼻内の鼻茸を切除し、副鼻腔を鼻腔に開放し清掃します。鼻腔・副鼻腔は眼窩や頭蓋底と隣接する繊細な部位であるため、損傷を起こさず安全な手術を行う事が重要です。術前の十分な検討に加え、手術中は手術操作している部位を明らかにすることが出来るナビゲーション装置を用いて、安全に手術を行っています。

副鼻腔炎を疑わせる症状でお困りの患者様がいらっしゃいましたら、ご紹介をよろしくお願ひ致します。

図：好酸球性副鼻腔炎の副鼻腔 CT



## セミナーのご案内

急性期病院として、地域住民に安心を提供できる医療連携の構築を目指し、病診連携・病病連携の充実を図ることを目的として下記を開催いたします。奮ってご参加をお願いいたします。

### 『令和6年度 第5回 Kawasaki 連携フォーラム Web セミナー』

日 時：令和6年12月11日（水）19：00～20：00（入室18：30～）

方 法：オンライン（Zoom）

テ ー マ：「学童期の近視進行を考える」

講 師：川崎医科大学総合医療センター 眼科部長 長谷部 聡

対 象：医師・医療従事者

参 加 費：無料（岡山県医師会生涯教育単位1.0申請中）

申込方法：氏名・施設名・職種・医師登録番号（医師のみ）・住所・電話番号を記入の上、地域医療連携室にメール（[renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp](mailto:renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp)）にお申し込みください。

↑  
ハイフン

## ホットラインのご案内

### ☎ 脳卒中ホットライン ☎

- 24時間365日対応いたします。
- 脳卒中専門医師に直通電話でコンサル
- 「お断りゼロ」を目指します。
- 脳血管疾患の診療依頼の他のご相談も含めてお気軽にご連絡ください。



### ☎ 循環器ホットライン ☎

- 緊急の循環器疾患に関するお問合せ・ご紹介時に専門医師が直通電話で対応します。



### 病院理念

1. 医療は患者のためにある
2. すべての患者に対する深い人間愛を持つ
3. 24時間いつでも診療を行う
4. 先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
5. 地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

学校法人川崎学園 川崎医科大学総合医療センター  
患者診療支援センター 地域医療連携室

〒700-8505 岡山市北区中山下二丁目6番1号

TEL 086-225-2133（直通）

FAX 086-221-1101

E-mail [shien@hp.kawasaki-m.ac.jp](mailto:shien@hp.kawasaki-m.ac.jp)